資料番号
Ｎｏ．１２

2022年7月15日

最近の長野県経済の動向
（月例調査）

2022年４月、５月の経済データを基に、長野県内の景況を把握したものです。

概　　要

全国景気	持ち直しの動きがみられる
長野県内景気	持ち直しの動きに弱さがみられる
４月の生産動向	生産は足踏みがみられる
５月の個人消費	乗用車新車販売は12カ月連続で前年を下回る
５月の公共投資	公共工事保証請負額は5カ月ぶりに前年を上回る
５月の住宅投資	新設住宅着工戸数は2カ月連続で前年を上回る
５月の雇用情勢	有効求人倍率は4カ月連続で前月を上回る

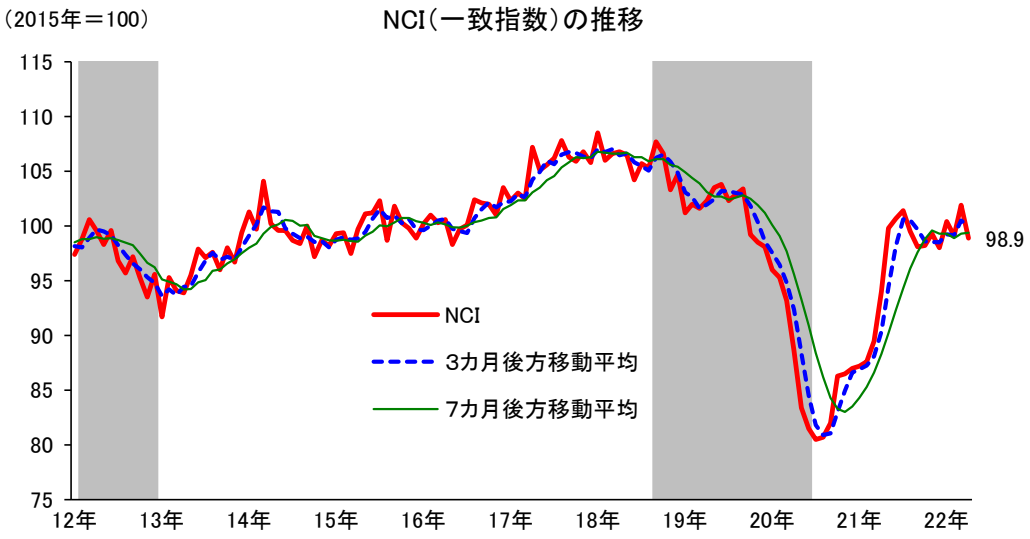
今後は、原材料価格上昇による物価への影響や新型コロナ感染再拡大による個人消費の動向などを注視する必要がある

照会先
一般財団法人 長野経済研究所　調査部
担当　粂井、中村
電話　026-224-0501

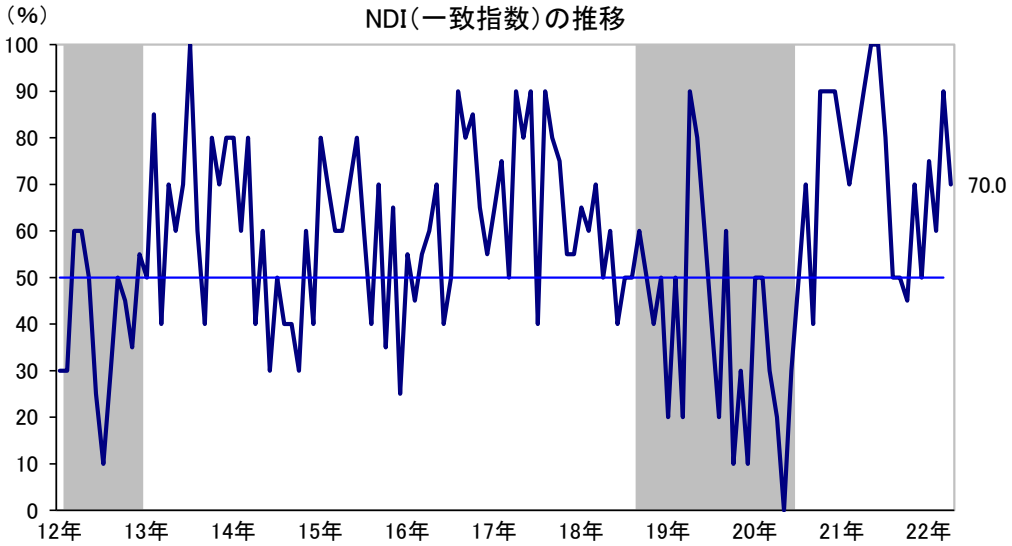
景気動向指数

・4月のNCI（一致指数）は、98.9と前月と比較し△3.0ポイントとなった。3カ月後方移動平均は同△0.5ポイントと2カ月ぶりに低下し、7カ月後方移動平均は同＋0.1ポイントと2カ月連続で上昇した。NCI（一致指数）は、足踏みを示している。

・NDI（一致指数）は、70.0%となり、景気判断の分かれ目となる50.0%を4カ月連続で上回った。



（資料）当研究所「長野県景気動向指数」
注1.NCIは長野県の景気変動の大きさやテンポ（量感）を示す
注2.シャドー部分は長野県の景気後退期を示す



（資料）当研究所「長野県景気動向指数」
注1.NDIは長野県の景気の方向、波及度合いを示す
注2.シャドー部分は長野県の景気後退期を示す

生　産

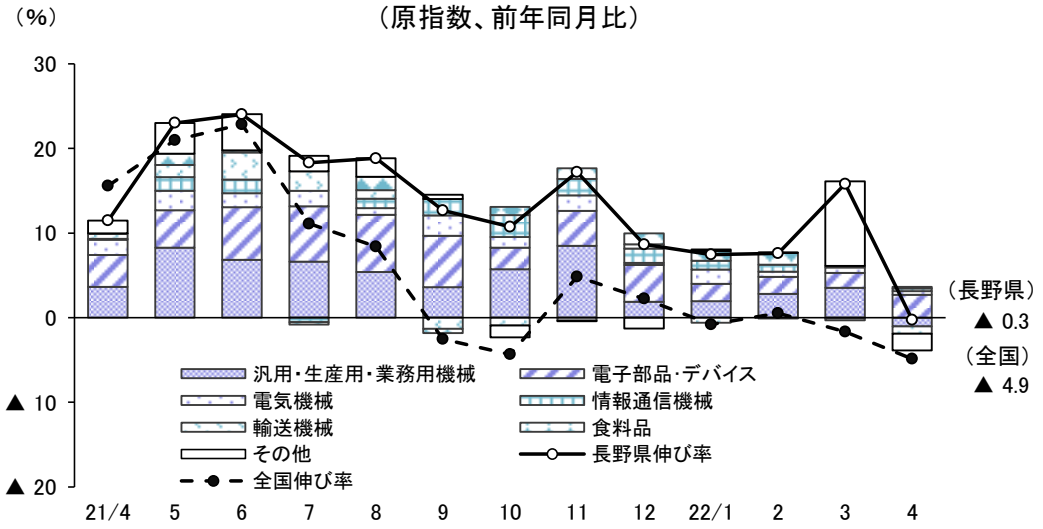
生産は足踏みがみられる

・4月の鉱工業生産指数は、原指数が前年同月比△0.3%、季節調整済指数が前月比△8.9%となった。

・原指数は15カ月ぶりに前年を下回り、季節調整済指数も2カ月ぶりに前月を下回った。半導体などの部品不足や上海のロックダウンの影響により、生産は足踏みがみられる。

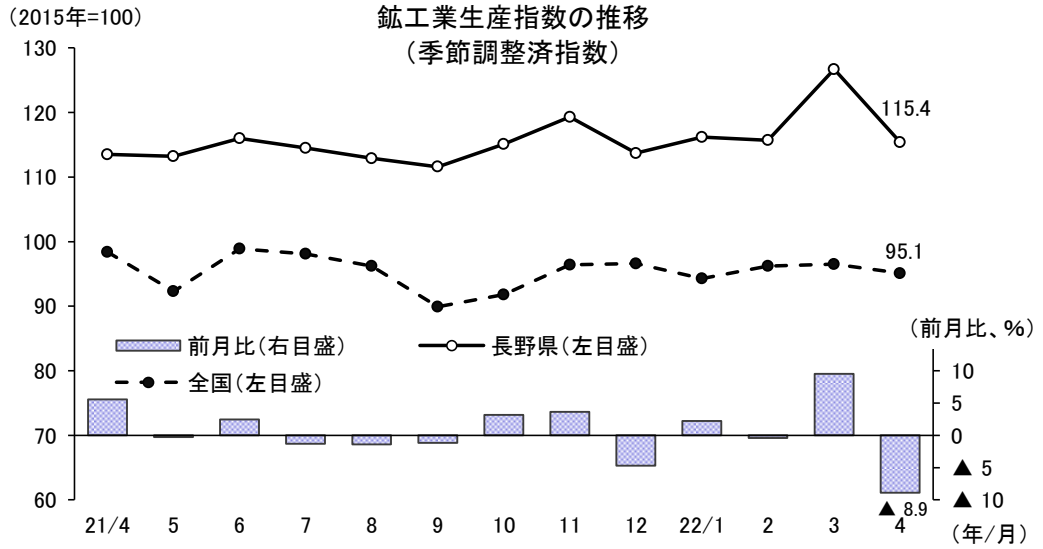
・主要業種別にみると、「電子部品・デバイス」、「電気機械工業」、「情報通信機械」などの業種で前年を上回ったが、「汎用・生産用・業務用機械」、「輸送機械」などが前年を下回った。

鉱工業生産指数の業種別寄与度
（原指数、前年同月比）



（資料）長野県企画振興部総合政策課統計室「長野県鉱工業指数」、経済産業省「鉱工業指数」

鉱工業生産指数の推移
（季節調整済指数）



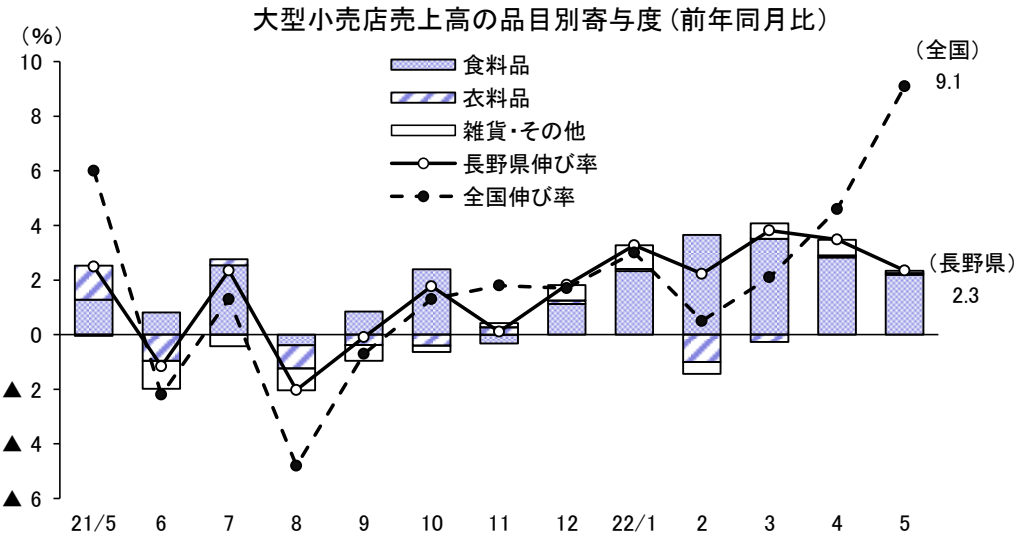
（資料）長野県企画振興部総合政策課統計室「長野県鉱工業指数」、経済産業省「鉱工業指数」

個人消費

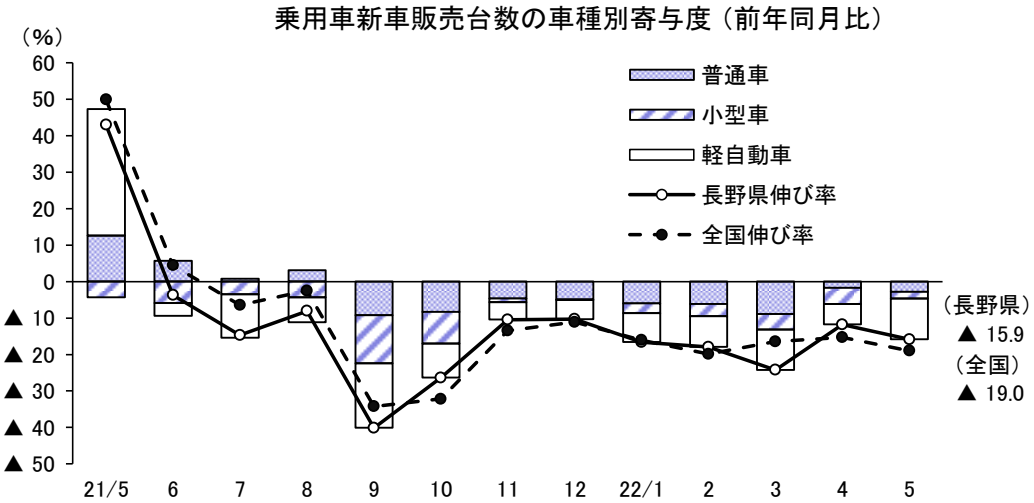
乗用車新車販売は12カ月連続で前年を下回る

・5月の大型小売店売上高は、前年同月比＋2.3％（売場面積調整前）となり、8カ月連続で前年を上回った。食料品は、底堅い内食需要に加え販売価格の上昇により、同＋2.6％となった。衣料品は、来店客数が増加したほか夏物の出足もよく、同＋1.2％となった。雑貨・その他は、身の回り品などが堅調で、同＋1.0％となった。

・5月の乗用車新車販売は、半導体不足や上海のロックダウンによる部品不足に伴う納車遅れが影響し、前年同月比△15.9％と12カ月連続で前年を下回った。普通車は同△10.0％と9カ月連続で、軽自動車は同△23.0％と12カ月連続で、小型車は同△7.9％と13カ月連続で前年を下回った。



（資料）当研究所「長野県内大型小売店売上高の動向」、経済産業省「商業動態統計」
（注）全国伸び率：22年5月分は速報値



（資料）北陸信越運輸局長野運輸支局「長野県における新車新規登録台数：乗用車」、
一般社団法人日本自動車販売協会連合会「車種別販売台数」、
一般社団法人全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売台数確報」
（注）普通車：3ナンバー車、小型車・軽自動車：5ナンバー車

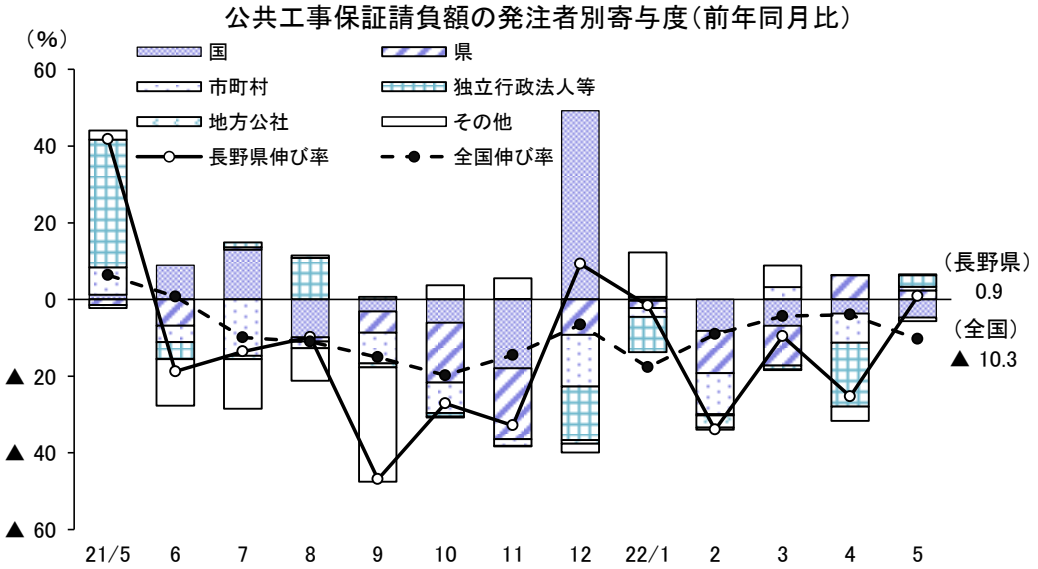
建設投資

公共工事保証請負額は5カ月ぶりに前年を上回る

・5月の公共工事保証請負額は、前年同月比＋0.9%の382億2,800万円となり、5カ月ぶりに前年を上回った。発注者別にみると、国が同△23.0%、その他が同△37.5%と減少したものの、県が同＋9.9%、市町村が同＋5.9%、独立行政法人等が同＋8.2%と増加した。

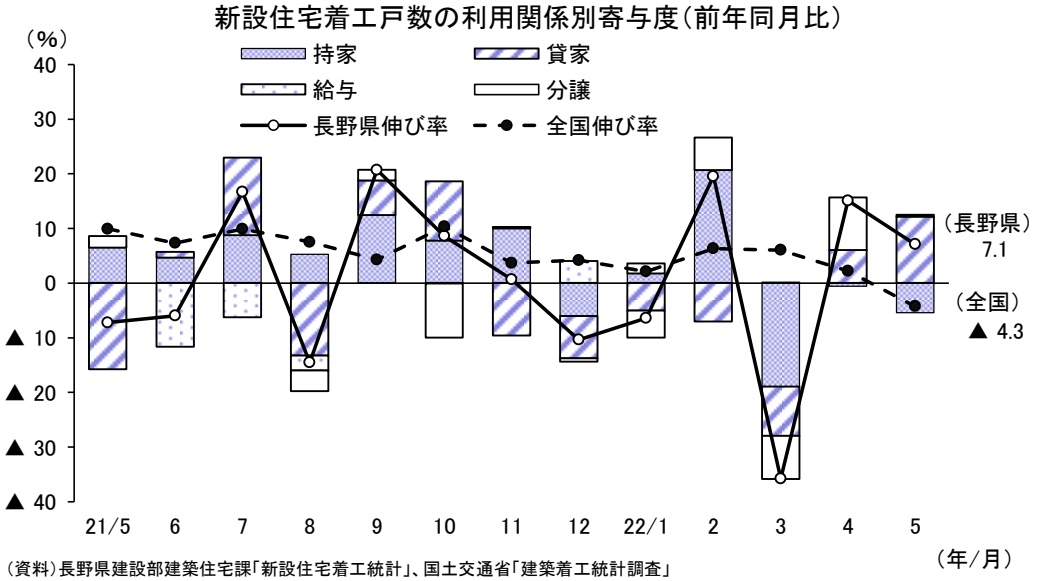
・5月の新設住宅着工戸数は、前年同月比＋7.1%の950戸と2カ月連続で前年を上回った。利用関係別にみると、持家が同△8.4%と減少したものの、貸家が同＋74.0%と増加した。

公共工事保証請負額の発注者別寄与度（前年同月比）



(資料)東日本建設業保証株式会社長野支店「保証取扱高」、東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」

新設住宅着工戸数の利用関係別寄与度（前年同月比）



(資料)長野県建設部建築住宅課「新設住宅着工統計」、国土交通省「建築着工統計調査」
(注)給与：社宅、公務員住宅など

雇　用

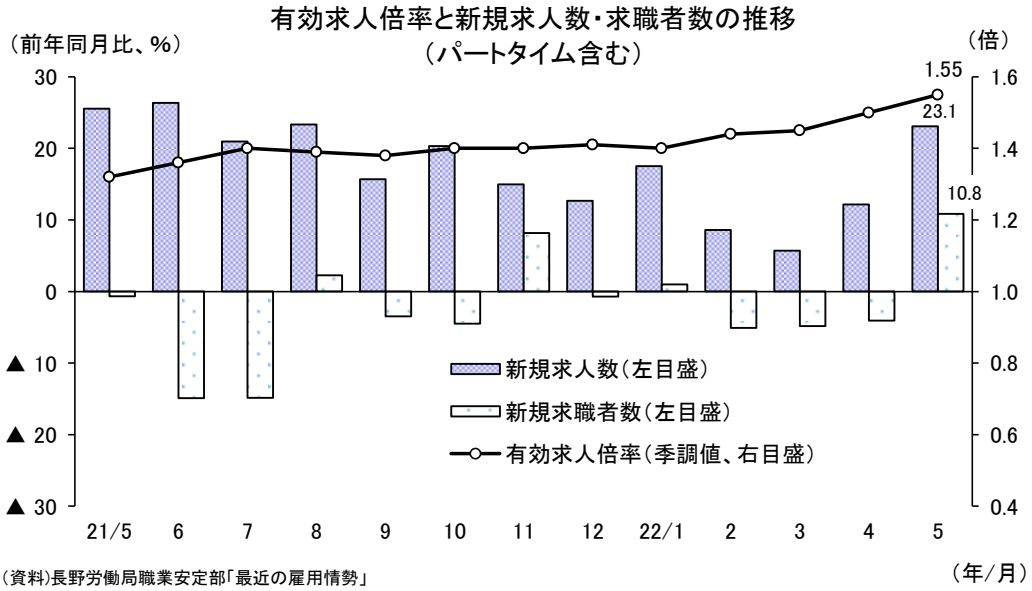
有効求人倍率は4カ月連続で前月を上回る

・5月の有効求人倍率は、前月比＋0.05ポイントの1.55倍と、4カ月連続で前月を上回った。

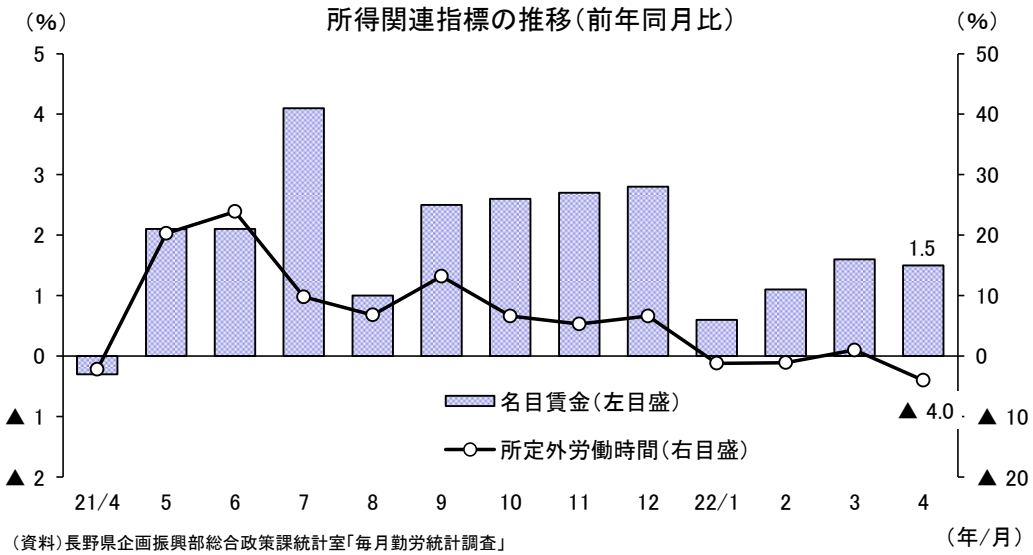
・新規求人数（全数）は前年同月比＋23.1％となり、15カ月連続で前年を上回った。このうち常用は同＋23.0％、パートは同＋30.2％となった。主要産業別では、宿泊業・飲食サービス業が同＋63.9％、製造業が同＋32.5％、医療・福祉が同＋24.5％、卸売業・小売業が同＋14.0％、建設業が同＋11.1％など、多くの産業で前年を上回った。

・新規求職者数（全数）は、前年同月比＋10.8％と4カ月ぶりに前年を上回った。

・4月の名目賃金は前年同月比＋1.5％と12カ月連続で前年を上回り、所定外労働時間は同△4.0％と、2カ月ぶりに前年を下回った。



（資料）長野労働局職業安定部「最近の雇用情勢」



（資料）長野県企画振興部総合政策課統計室「毎月勤労統計調査」
（注）1. いずれも従業員規模5人以上の共通事業所のみを集計
　　2. 名目賃金の前年同月比は、きまって支給する給与の実額比較による

県内地域別・近隣都県別有効求人倍率

13カ月連続で4地域とも前年を上回る

・5月の地域別有効求人倍率（全数）は、北信が前年同月比＋0.21ポイントの1.38倍、東信が同＋0.10ポイントの1.44倍、中信が同＋0.25ポイントの1.36倍、南信が同＋0.26ポイントの1.45倍となった。13カ月連続で全ての地域で前年を上回った。

・職業安定所別有効求人倍率（全数）は、上田、木曽福島を除く職業安定所で前年を上回った。

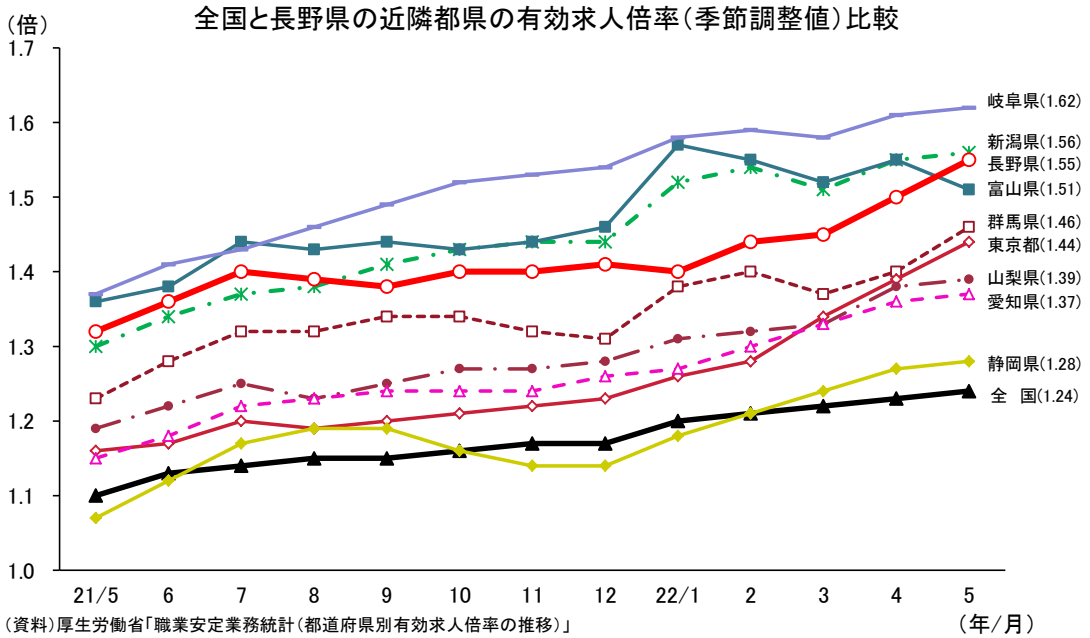
・長野県の有効求人倍率は20カ月連続で全国を上回り、順位は前月から5つ上げ6位だった。

長野県職業安定所別有効求人倍率（実数値）（22年5月）

地　域	北　信(1.38)（前年同月比0.21）				東　信(1.44)（前年同月比0.10）		中　信(1.36)（前年同月比0.25）			南　信(1.45)（前年同月比0.26）		
職業安定所	長野	篠ノ井	飯山	須坂	上田	佐久	松本	木曽福島	大町	飯田	伊那	諏訪
全　数	1.39	1.40	1.26	1.41	1.28	1.62	1.39	1.35	1.14	1.38	1.47	1.47
前年同月比（ポイント）	0.16	0.23	0.28	0.25	▲ 0.01	0.23	0.27	▲ 0.14	0.30	0.20	0.28	0.26
うち常用	1.25	1.34	1.23	1.30	1.19	1.56	1.16	1.29	1.12	1.31	1.27	1.40
前年同月比（ポイント）	0.12	0.20	0.29	0.25	0.13	0.26	0.20	▲ 0.11	0.29	0.20	0.22	0.26

（資料）長野労働局職業安定部「最近の雇用情勢」
（注）実数値とは、新規学卒を除きパートタイムを含む季節調整前の原数値

全国と長野県の近隣都県の有効求人倍率（季節調整値）比較



（資料）厚生労働省「職業安定業務統計（都道府県別有効求人倍率の推移）」
（注）1．新規学卒を除きパートタイムを含む
　　2．長野県の近隣都県及び、経済規模、産業構造が類似している県